

# 完成図書作成マニュアル (参考)



公益財団法人 横浜市建築保全公社

1. 完成図書はA4ファイルにまとめ、原則として**学校施設は1部、庁舎関係施設は2部作成**する。
2. ファイルの厚みは書類の厚みを考慮し選定する。
3. ファイルの材質は耐水性のある厚紙を使用し色はグレイ系とする。
4. 消防届出書類の副本(原本)は別冊A4ファイル(ピンク色)に綴じ込む。

庁舎関係施設については、施設側の要望等により増冊する場合もある為、監督員へ部数の確認を行なう事。

平成〇〇年度 完成図書 発注者 公益財団法人 横浜市建築保全公社

1  
2  
3  
ア  
イ  
ウ  
4  
ア  
イ  
ウ  
X  
x  
x

工事発注年度とする。  
(工事完成年度ではない)

1施設2部作成する場合のみ、  
「正」・「副」の表示を行なう。

正

平成〇〇年度  
**完成図書**

透明シール等で保護して下さい

インデックスを付ける。  
(大・小項目)

工事名 〇〇学校〇〇〇改修工事  
 住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番〇号

複数施設の場合については下記による。

- 1.代表施設 工事名 〇〇学校ほか〇校〇〇〇改修工事 (注:契約上の工事名)  
住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番〇号 (注:契約上の住所)
- 2.他の施設 工事名 〇〇学校ほか〇校〇〇〇改修工事 (注:契約上の工事名)  
                  (▲▲▲学校)  
住所 ▲▲▲学校の住所

\*部数は上記による。  
\*消防届出書類においても同様のタイトルとする。

発注者 公益財団法人 横浜市建築保全公社  
  
 請負人 〇〇〇電気株式会社  
  
 代表者 〇〇 〇〇  
  
 住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番地  
  
 電話 045-123-4567

● (公財) 横浜市建築保全公社(電気係)独自の完成図書作成マニュアル(参考)です。

**消防届出書類の表紙の書き方 (参考)**

(消防届出が必要な場合のみファイルを作成する)

(A4 ファイル ピンク色)

平成〇〇年度  
消防届出書類

工事名 〇〇学校〇〇〇改修工事  
住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番〇号

発注者 公益財団法人 横浜市建築保全公社

請負人 〇〇〇電気株式会社

代表者 〇〇 〇〇

住所 横浜市〇〇区〇〇町〇番地

電話 045-123-4567

横浜市建築保全公社  
〒〇〇〇〇〇〇  
〇〇区〇〇町〇番地  
電話 〇〇-〇〇-〇〇〇〇

**下記を参考に作成する事。  
(下記以外に必要なものについては追加作成する)**

## 1. 目次

## 2. 故障連絡先

## 3. 諸官庁提出書類

- ア. 消防用設備等着工届出書・消防用設備等設置届出書（着工届・設置届はコピーとし、図面は不要）
- イ. 消防用設備等検査結果通知書または消防用設備等検査済証（コピー）  
（注:上記書類は「副本」を別冊ファイルに綴じる）
- ウ. 建設廃棄物処理委託契約書（表紙のみコピー）
- エ. 産業廃棄物管理票(マニフェストD票又はE票)・収集運搬業許可証・処分業許可証・処理経路図(公社Hp)  
（注:完成図書はコピーとし、原本は完成検査時に準備する）\*産業廃棄物処理(計画・報告)との確認を要す。
- オ. 東京電力自家用電気使用申込書(原本)・事前協議票
- カ. その他工事に応じて必要な諸官庁提出書類

## 4. 試験成績表

- ア. 絶縁抵抗測定表 低圧及び高圧（改修前後）
- イ. 接地抵抗測定表
- ウ. 耐電圧試験成績表（高圧ケーブル・変圧器・高圧機器等）  
（耐圧試験範囲を表示した単線結線図及び高圧ケーブル工事技能認定証のコピーを綴じ込む）
- エ. SOG制御装置動作試験表
- オ. PCB絶縁油分析結果報告書
- カ. 照明器具試験成績表
- キ. 自火報試験成績表（警報回路・防火シャッター・消火栓始動等必要に応じて綴じ込む）
- ク. 非常放送動作試験成績表
- ケ. 分電盤・制御盤試験成績表
- コ. テレビ共同視聴電界強度試験表
- サ. 空調機器試験成績表
- シ. その他工事に応じて必要な試験成績表(現場試験・機器(メーカー等))  
（注:JISにより指定された機材で、JISマーク表示のある機材を使用した場合は、試験成績書の提出を省略することができる）

## 5. 機器完成図

- ア. 照明器具
- イ. 防火設備機器(受信機・感知器等)
- ウ. 拡声設備(非常放送含む)
- エ. 分電盤・制御盤・開閉器盤等
- オ. テレビ・インターホン設備機器
- カ. 構内交換装置(交換機・電話機)
- キ. 監視カメラ設備機器
- ク. 受変電設備機器(PAS・変圧器・LBS・高圧機器等)
- ケ. ハンドホール蓋（破壊試験表）
- コ. 換気扇・空調機器等
- サ. 静止形電源設備機器(直流電源装置・UPS等)
- シ. その他工事に応じて必要な機器完成図

（注:承諾図を修正したものとし、該当する使用機器(仕様)にマーキングをする）

## 6. 取扱説明書（注:完成検査前までに施設側への取扱説明を完了しておく事）

## 7. 完成図面

注:完成図面は現況に即したものとする。(監督員の了解を得た完成図)

注:図面下部に 完成図 を入れる。

平成〇〇年〇月

(図面左下の図面枠内の年月日の修正は行わないで下さい)

## 8. 工事写真

- ・ 工事用黒板の記入内容が確認できる写真は、説明書きを省略してもよい。
- ・ 「正」、「副」2部作成する場合は「正」のみとする。
- ・ 枚数が多い場合は「別冊」としてもよい。

## 故障連絡先

### 請 負 人

会社名 ○○○電気株式会社  
住 所 横浜市○○区○○町○番地  
電 話 045-123-4567  
担当者 ○ ○ ○ ○

(土・日曜日・祝日の連絡先)

氏 名 ○ ○ ○ ○ 090-1234-5678

\* 消防局関連施設の場合のみ記入する。

### 協 力 会 社 ( 自動火災報知設備 )

会社名 ○○○防災株式会社  
住 所 横浜市○○区○○町○番地  
電 話 045-123-6789  
担当者 ○ ○ ○ ○

### 協 力 会 社 ( )

会社名  
住 所  
電 話  
担 当 者

(注) \* 協力会社の( )内は、工事内容に応じて職種を記入する事。

(注) \* 主要な職種を記入する事。

(例: 自動火災報知設備・非常放送設備・キュービクル改修・空調設備等)